

# 地域再生とまちづくり

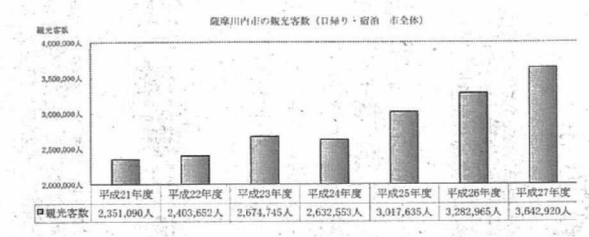
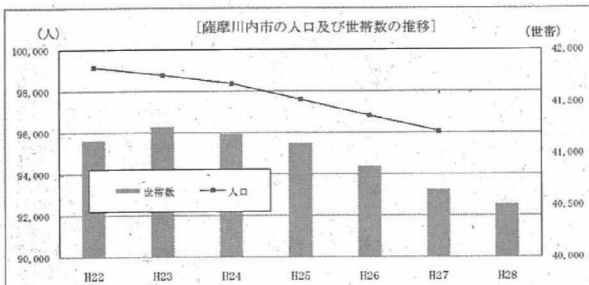
各都市が目指すものは

<第6回>

## 若者を受け入れ

テレビ番組の企画で地域おこし協力隊の見習い隊員としてタレントが派遣され話題となった飯(こしき)島。協力した薩摩川内市では現在、地域おこし協力隊の新規隊員を募集中である(6月10日時点で5地域12名募集、市企画政策課企画総務グループ)。

同市は、鹿児島県の北西部に位置し、国定公園に指定されている飯島、温泉(市比野、川内高城ほか)、ラム



## 鹿児島県薩摩川内市・地域おこし協力隊が活躍

開発に取り組んでいる。13年連続的に販売・運営さ度以降は総務省の地域活性化事業である地域おこし協力隊の制度を活用している。

同市企画政策課や観光・シティセールス課によると、これまでの隊員の活動の成果として、地域の特産品を活用した加工食品や土産物の開発のみならず、体験ツアー、イベント企画を含めて3年間で326もの商品を開発し、約2390万円の売り上げをもたらした。開発商品の中には継

「SAMURAIツリースム(入来)などがあげられる。地域おこし協力隊がその地域にもたらす効果は経済効果にとどまらない。隊員が商品

# 3年間で326商品開発 加工食品から体験ツアーまで



ラムサール条約湿地の蘭牟田池全景

開発をする場合、単独で行うことはない。必ず地域の方々

また、同市では11年度から15年度までに21人の隊員を採用してきたが、任期満了後に定住した隊員は7割以上と高い比率である。同市の人口は減少傾向であり、隊員の定住が全体に占める割合は小さいものの、若年層の定住は、特に高齢化が進む地域にとっては数字以上の効果があるに違いない。

## 観光客は増加傾向

地域特産品を生かして開発された「ほっ茶お(上)」と「たかえび味噌」

八古道アイランドトレッキング」が始まったが、その起点となる集落では特産品の新商品が生まれるといった効果があったそうだ。まさに、「ほっちゃん」と波紋が広がっているところである。

また、同市では11年度から15年度までに21人の隊員を採用してきたが、任期満了後に定住した隊員は7割以上と高い比率である。同市の人口は減少傾向であり、隊員の定住が全体に占める割合は小さいものの、若年層の定住は、特に高齢化が進む地域にとっては数字以上の効果があるに違いない。

地域おこし協力隊を含めた市全体の取り組みにより、薩摩川内市の延観光客数は増加傾向にあり、15年度は前年度比11%増の約364万人の観光客が訪れた。熊本地震後の動向は不透明であるが、持ち直しを期待したい。

(日本不動産研究所鹿児島支所、不動産鑑定士・武田信一)